

体育史学会第13回大会 プログラム

1日目 6月8日(土) 12:30受付 13:00開会(発表20分 質疑応答10分)

時刻	発表者	演題	座長
13:00	体育史学会長挨拶		
13:05 ~13:35	柿山 哲治 (福岡大学)	明治期の青山女学院宣教師アーリング女史とバスケットボールの接点	藤川 和俊 (東京国際大学)
13:35 ~14:05	田端 真弓 (長崎大学)	渡邊昇の「名士の嗜好」(明治32年)にみる言説及びその背景 —剣術を通じた身体教育の考え方—	坂上 康博 (一橋大学名誉教授)
休憩 5分			
14:10 ~14:40	木下 秀明 (元 日本大学)	生兵概則・軍隊教育順次教令からみた軍隊教育と体操	工藤 龍太 (上智大学)
14:40 ~15:10	大林 太朗 (筑波大学)	日本人アスリートの短距離走法に関する技術史研究—1920年代から1930年代を中心に—	新井 博 (日本福祉大学)
15:10 ~15:40	近藤 雄大 (北海道大学大学院)	1960-70年代における内山源の保健科教育研究に関する一考察 保健科教育内容の選択・構成に関する実践研究と理論研究に着目して	榊原 浩晃 (福岡教育大学)
休憩 5分			
15:45 ~16:45	平塚卓也 (奈良女子大学)	【学会企画】 戦後体育行政の形成過程について	鈴木明哲 (東京学芸大学)
18:00~	【情報交換会】 会場：酒國 長宗我部		

2日目 6月9日(日) 9:00開場 9:30開始

時刻	発表者	演題	座長
9:30 ~10:00	鈴木 明哲 (東京学芸大学)	ナチ党员であったオーストリア・トップスイマーの虚偽申告とその後 —人民裁判と抗告委員会におけるJ. Pauker—	都筑 真 (日本女子体育大学)
10:00 ~10:30	新井 博 (日本福祉大学)	日中戦争下でのスキー活動について	中村 哲也 (高知大学)
10:30 ~11:00	都筑 真 (日本女子体育大学)	統括権をめぐるトウルネンとスポーツの対立とドイツ帝国体育委員会	榎本 雅之 (滋賀大学)
休憩 10分			
11:10 ~12:00	【総会】		